

学校応援団だより

NO.6-9(234) 令和7年1月30日

炎の舞と心の絆 「鬼火焚き」 旭小学校、荒川小学校



旭小の「鬼火焚き」(左：しし鍋の振舞い、右：厄年の人による火入れ)



荒川小の「鬼火焚き」(左：児童の書初め、右：やぐらへの火入れ)

鬼火焚きが旭小学校で1月11日(土)に、荒川小学校では1月13日(月)に開催されました。年男、年女が火入れを行ない、「五穀豊穰」や「家内安全」を祈願しました。旭小学校では「しし鍋」「ぜんざい」「焼き芋」が振る舞われました。一方、荒川小学校では最初に児童による「書き初め」が披露され、今年の目標が発表されました。参加者は燃え上がるやぐらに手を合わせ、願いを込めていました。

「鬼火焚き」は鹿児島島の伝統行事で、本市では約30年前に羽島地区で復活し、その後、市内各地で復活しました。

この活動を通じ、子どもたちと大人たちとの世代間交流が生まれ、地域の絆が深まると思われます。

未来のシェフは君だ！ 串木野中学校



包丁さばきを指導



教頭先生と推進員の中村さんが視察



「蒸し野菜のサラダ」に挑戦



自分たちで手がけた料理を試食

串木野中学校の1年生と2年生が、12月6日（金）から計6回にわたり調理実習を行いました。

地域女性団体連絡協議会と食生活改善推進員協議会の延べ35名の方に支援していただきました。

実習は5～6名のグループにボランティア1人が付き、包丁の扱いや食材の切り方などを指導して頂きました。約2時間の実習で「サケのホイル焼き」、「豚肉の生姜焼き」、「蒸し野菜のサラダ」が出来上がりました。

実習後、生徒たちは自分たちが手をかけた料理を味わい、達成感や満足感を得ることができました。

地域の方々が参加する活動により、地域で子どもたちを育てる意識が広まり、次世代を担う若者たちが健やかに成長していくと思われます。

発行元・連絡先＝市来庁舎3階 市教育委員会 社会教育課

(TEL 21-5128) (FAX 36-5044)

地域学校支援コーディネーター（有元 操・藤崎 裕史）

* 本応援団だよりは右のQRコードを読み取り、カラー版でご覧頂けます。
また、市立図書館（本館）掲示板にも張り出してあります。

